

維新の会 西藤彰子でございます。

尼崎市議会 6月定例会におきまして、質問の機会を与えていただきました事に、感謝申し上げます。

先輩、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご清聴を宜しくお願い申し上げます。

また、地元で活動しておりますと、行政言葉が難しく非常に分かりにくいと言われるので、尼崎のおばちゃんを代表しまして、尼崎のおばちゃんの私でも分かるように、市長初め、理事者の皆様におかれましては、明快で分かりやすいご答弁を宜しくお願い致します。

今回は 「尼崎城と観光とまちづくりについて」

「尼崎市が管理する道路の整備事業について」 2点を質問させていただきます。

① それでは1点目、「尼崎城と観光とまちづくりについて」

今回の一般質問で、尼崎城についての準備を行う中で、都市計画について調べておりました。すると、5年前の私が、稲村市長にインタビューをさせて頂いた時の映像が、市のホームページに掲載してありました。リンク先を開くと、当時のインタビューの様子を閲覧することが出来ました。

ホームページから、「尼崎市都市計画マスタープラン」、そして「尼崎市都市計画マスタープラン 2014 Q&A」。このページに、当時の稲村市長とリポーターの私とのQ&Aと、そのページ下に「尼崎市都市計画マスタープラン市長インタビュー（外部リンク）」が貼られてあります。都市計画マスタープランの見直しに際して、「あまもっと」より、「都市計画とは?」、「都市計画マスタープランの見直しとは?」などの取材をさせて頂いていたものです。

「あまもっと」とは、これまでの尼崎の悪いイメージを払拭して、尼崎住民だと胸を張って言いたいよね！尼崎を自慢しよう！尼崎を好きになってもらおう！自分達が何らかの形で関わって、尼崎の魅力を発信しよう！と、SNSを通じて知り合った尼崎市民と有志がボランティアで、それぞれの仕事の合間をぬって手作り、市内のイベントやお店の紹介等をさせて頂き、2013年8月からインターネット番組「元気！尼崎！あまもっと」を開局し、情報発信をしていました。

街に対する誇りや愛着を持って、街に関わっていく事、正に、シビックプライドです。

当時、私自身もまさか市議会議員になるとは想像しておらず、稲村市長にはイベントでお会いさせて頂いた時、その都度、突然のインタビューにも関わらず、お応えいただきました。

稲村市長にインタビューをさせて頂いて、あれから5年経ちますが、市長にインタビューをさせて頂いた事で、私もシビックプライドを体現（たいげん）する為、議員になることになりました。

昨年の市議会改選の時の、私の選挙公約にも掲げておりましたが、「訪れたい街・尼崎」尼崎市の街の魅力をPRして、多くの方に愛される尼崎を実現したい思いから、尼崎城のグランドオープンに向けて、「尼崎城と観光と街づくりについて」をお伺い致します。

市長は、5年前にご説明いただいた時の、思い描いた街づくりの一環として、大変ありがたいことに多額の寄附に恵まれたことを幸いに、尼崎城を再建されようとしているのだと思いますが、当時の「目標」や「ビジョン」を、今もブレることなく進められていますか？

思われるところをお答えいただければ幸いです。

② 2点目、「尼崎市が管理する道路の整備事業について」

私も議員になってこの一年、市民の方より、多様な道路の改修工事等の依頼をお受け致しておりますが、

担当部局とその担当者の皆様には、迅速に対応していただいております。

道路維持 担当課の皆様には、ご依頼をされました住民の方々から、「心よりありがとうございます」と感謝の言葉をいただきましたことを、本日この場をお借り致しまして、お伝え申し上げます。

本当にありがとうございます。

日常業務が立て込む中、急な催促ばかりで本当に心苦しい事ではありました。

ですが、快く作業に取り掛かって下さいました事、私からも御礼申し上げます。

さて、そんな中、少し疑問に思うこともございましたので、質問をさせていただきます。

幹線道路の計画はありますが、生活道路の長期改修工事の計画はあるのでしょうか？

以上で1問目の質問を終わります。

【一問一答】

今の答弁を受けて、一問一答にて質問をさせていただきます。

1点目の「尼崎城と観光とまちづくりについて」質問をさせていただきます。

①-②

「尼崎城整備に係る展示計画」の基本理念には、「尼崎城天守を拠点に、尼崎の歴史文化資産と連携して、市民はもとより来訪者にも『魅力あふれるまち・尼崎』のイメージを力強く定着させ、シビックプライドの醸成、地域の活性化をめざす」とあります。

施設整備の目的の

1つ目が、展示と学びの場を提供して、歴史にふれる。

2つ目が、歴史・文化ゾーンを中心として、市域に点在する歴史文化遺産に関する情報を発信し、周遊へと誘い、まちの新しい楽しみ方を提案し、市内を周遊。

3つ目は、市民機運を高め、市民や来訪者との交流や、シビックプライドの醸成、地域の活性化をめざします。と、まちにたたずむ歴史文化を花咲かせ、未来を見渡す交流と学びの天守が基本コンセプト。とされていますが、そこで質問します。

尼崎城から歴史館、商店街、寺町などへの導線は、どのように考えられていますか？

①-③

「尼崎城一枚瓦寄附」「尼崎城一口城主寄附」や「みんなの尼崎城基金（ふるさと納税）」の合計寄附金額が3月9日に、1億円を超えたと発表がありました。

また、平成29年5月からの「尼崎城の一枚瓦の寄附募集」が5月31日迄で終了しましたが、最終の寄附金額と件数、そして寄附を募る目的は、「尼崎城の内部展示等の設備費用、及び更新費用等に充てる」としていましたが、それに十分足りるだけ集まりましたか？

①-④

12月定例会で、文教委員長の北村保子議員が質問されておられましたが、その時のご意見に、私も同じ

思い、同じ考えです。

尼崎城の年間の入城者数を約 15 万人と見込んでおられ、その来場者数の見込みを実現する為に、何か良い方法手段が無いかと、これまでに、観光名所・各地を観て参りました。

桜の時期に、京都市岡崎地区の十石舟（じゅっこくぶね）に乗船してきました。

乗船料は中学生・大人は 1,200 円、小学生は 600 円です。

桜が岸辺に沿って植樹されており、満開の桜を眺めながら、往復約 3 キロを約 25 分間、乗船しました。乗船するのに長蛇の列が出来るほどの人気スポットです。

ここで、質問です。

河川及び、その河川敷を利用する際には、河川法の縛りがありますが、平成 25 年 12 月 11 日施行の「河川法 第 23 条・第 24 条・第 26 条」、及び、河川保全区域における行為の許可「河川法 第 55 条第 1 項」など、関連法令をクリアすることで、こういった事業施設を国や県のご指導も受けながら、社会実験を行うことが可能だと思います。

一案として、尼崎城に隣接して流れる庄下川に、屋形船を走らせてはいかがでしょうか？

次の質問に移ります。

① - ⑤

インバウンドが継続的に成功しているエリアは、街づくりが上手な場所が多いです。平成 20 年に大阪市内 中之島の土佐堀川沿いに川床を設置する「北浜テラス」が社会実験として実施されました。

箕面川床についても、平成 21 年に、河川管理者である大阪府との協働で箕面川・箕面公園活性化・市検討会を設置し、法的な課題解決の検討を開始しました。箕面市では、平成 22 年と 23 年度の春と秋にかけて川床を実施し、2 年間で 17,000 人も、利用がありました。

春と秋で 2 か月ずつ、2 年ですが、実施期間 8 か月で約 8,500 万円の売り上げです。

これ以外に周辺の土産店や近くに音羽山荘や箕面観光ホテルがあり、宿泊客、増となり、約 2 年の社会実験の後に、民間が現在、後を引き継いで、箕面川床が本格的に実施されています。

これまで、箕面大滝を見物して帰る流れが一般的だったそうですが、箕面川床が出来たことで、川床で食事後も、周辺のカフェや土産物屋に立ち寄るなど、滞在時間の延長や周遊の向上などの相乗効果が生まれたようです。又、自然豊かな国定公園内での営業の為、天候により、中止せざるを得ない、状況が生じることがあるという課題があったそうですが、国定公園ではない尼崎の場合は、このようなデメリットはないかと思えます。

今は、河川・敷地・占用許可準則の改正により、実施しやすくなっています。

市の独自の事業、民間の事業、市が出来る事と民間の力を融合して、活用出来ることを、プロポーザル方式での入札を行って、河川敷にカフェや川床を行ってみてはいかがでしょうか？

次の質問です。

① - ⑥

山形県の上山城（かみやま城）に行ってきました。

1～3 階は展示室、4 階は展望台で蔵王連峰、上山市が一望できます。

入館料は大人 410 円、学生 360 円、小人 50 円で、毎週土曜日は、小中学生は無料で入館出来ます。

他会派からも、類似した要望が出ておりましたが、尼崎城の入城料を土曜日は、小中学生は無料にされてはいかがでしょうか？

①-⑦

尼崎城は、阪神尼崎駅のホームからも見え、国道2号線付近で交通量が多く、尼崎城は元よりその眼下に流れる庄下川は目立ちます。

施設設備の目的を達成する為にも、県と国から予算を取り、大阪の道頓堀川のように、河川のクリーン化も視野に入れられてはいかがでしょうか？

①-⑧

先日受講した研修で、宮城県の山田裕一 白石（しろいし）市長とお会いする機会があり、白石城のお話を拝聴させていただきました。

白石市にも、白石城があり、120年ぶりに平成7年に江戸時代の姿を忠実に復元されました。

入場料は、大人300円、小人150円です。

鬼十郎（おにこじゅうろう）祭りでは、市民団体による、甲冑（かっちゅう）を身にまとった片倉軍、忍者姿の真田軍、双方60騎の合戦や火縄銃の演武、天守閣から初日の出を拝む会など、催し物を行われています。

尼崎城のグランドオープンまでに一年を切っております。

尼崎城も、再来城してもらう為に、様々な催し物を企画されれば良いと思うのですが、今回、私をご提案させていただいたモノ以外に、具体的な企画は決まっていますか？

①-⑨

昨年の12月定例会で、小西議員も是非、尼崎城に桜を植樹していただきたい。

それによって、尼崎城を桜の名所としていただきたい。と、提案をされておられました。が、植樹の予定は、あるのでしょうか？

①-⑩

春は桜や新緑、夏と冬はライトアップとキャンドルロード、秋は紅葉で集客し、

阪神尼崎駅から商店街、寺町、庄下川、尼崎城を周遊出来るように

設え（しつらえ）ては、いかがですか？

①-⑪

市内の老人会でも、尼崎城の再現を機会に、見学会を考えていらっしゃるとお聞きしましたが、ご高齢で、大きな駐車場の確保が必要ではないかと話が出ていました。

観光バスの乗車下車の停車場所の最終決定は決まりましたか？

それでは2点目の質問に移ります。

「尼崎市が管理する道路の整備事業について」

②-②

道路整備は、継ぎはぎだらけで見栄えが悪く、段差が目立ち、高齢者や小さなお子さんが歩くには危険が多いと地域の方に言われています。

計画性が見えません。

臨機応変な対応に追われる回数を少なくする為に、計画的に工事を進める事が出来ないものか、住民からのご相談を受ける度に私も悩んでおります。

結局のところは、これまで通り、住民や議員が気付いた都度ごとに、担当課にご報告を上げさせていただけば、よろしいのでしょうか？

以上で、私からの質問は終わりですが、

1 問目の「尼崎城と観光とまちづくりについて」ですが、

「海外が反応する日本」という YouTube のチャンネルがあります。そこでは、日本の観光 PR 動画がカッコ良すぎると海外の方に話題になっています。

大分県の PR 動画は、シンクロの選手達が、温泉でシンクロをして、街を PR しております。

また、別府市では、「別府ラクテンチ」という遊園地で、ジェットコースターやメリーゴーランド等の遊戯施設や設備を浴槽にし、水着やバスタオルを巻いて、楽しんでいる PR 動画があります。市長自らが出演し、動画再生回数 100 万回を超えたら、本当に遊園地をこの PR 動画のようにして開園することを約束され、実現されました。

本当に観ていて楽しいですし、一度行ってみたいと心を動かされるモノです。

YouTube で上がっていますので一度参考に見て下さい。

担当部局職員が自ら、かつらを被り、侍の恰好をして PR されていますが、尼崎城が再建する前から有志集って、侍姿やお姫様の姿になり、みんなの心が躍る、一度行ってみたいと思わせる事の出来る、尼崎城の PR 動画を作るのも良いと思います。

シビックプライドに繋がると思います

尼崎城を作ることが目的ではなく、尼崎城を通して歴史に触れ、

市内を観光、市民や来訪者との交流や地域の活性化を目指す、手段です。

シビックプライドを住民に求める前に、市行政がシビックプライドを

理解されて、住民の皆様に、“私たちの尼崎城”と愛着を持ってもらえるように

将来に負担がかからないように、税収を上げる努力をしていただきたいと

切に願ひまして、私の一般質問を終了致します。